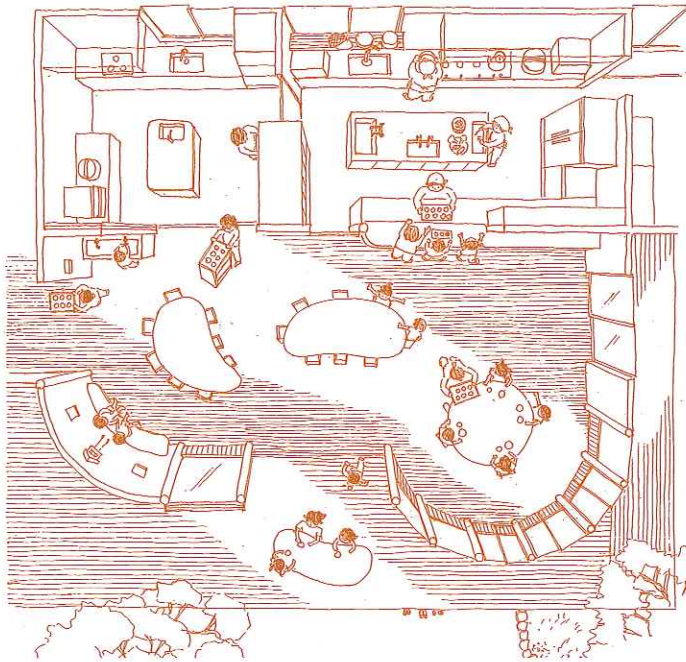


特集 | 建築から変える 保育所の未来

定員の弾力的運用が始まってから、認可保育所での死亡事故が急増しています。待機児童を持つ親は、入所しやすくしてほしくても、保育の室を下げることは望んでいません(飯島玲子・保育園を考える親の会)。幼児が木の素材感や左官の手触りを喜ぶかというところなことはありません。それでも、子どもにこそ大人から見て「良い」と思えるものを与えなければなりません。子どもにとってすべては「善きもの」だから(吉村真基・DIG Architects)。



保育園を考える親の会「定員の弾力的運用以降、死亡事故急増。保育所は感性を育むデザインを」
 吉村真基「夫の積極的な家事・育児で仕事と両立。出張時は現地で託児サービスを活用」
 吉川史子「子育てと仕事の両立が「特別なこと」から「当たり前」の世の中に」
 河合真菜・羽馬彩・柳沢陽子「仕事と子育ての両立は、保育園に子どもを預けてこそ」
 東京都港区「プレハブ・旧校舎を認可同等の暫定保育室に。それでも減らない待機児童」
 風の谷保育園「施主支給で木造園舎を実現。自然いっぱいの保育園は地域で支える」
 みつばち保育園「危険要素は取り除かない。子どもの面線で空間を構成」
 若竹保育園+玄海・風の子保育園「都市部と山里部、地域性を生かした自然の節理を感じる園づくり」

地域の話

カビ、クモの
発生は人災、
どうなる
新潟市美術館



論評

海兵隊の駐留は不必要!

「移設」ではなく「閉鎖」を

—— 普天間基地(移設)問題

—— 真喜志好一

オビエンの視線

—— ノーモア「復興災害」!

災害後の社会的人災を避けるための

備えを、いかに構築するのか?

—— 塩崎賢明



Letters |

旧白井晟一自邸
「虚白庵」お別れの会

—— 小西敏正

各地域に拠点を置く設計事務所の
作品集
建築集